「橋渡し研究戦略的推進プログラム」
【国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）】

○　橋渡し研究支援事業について

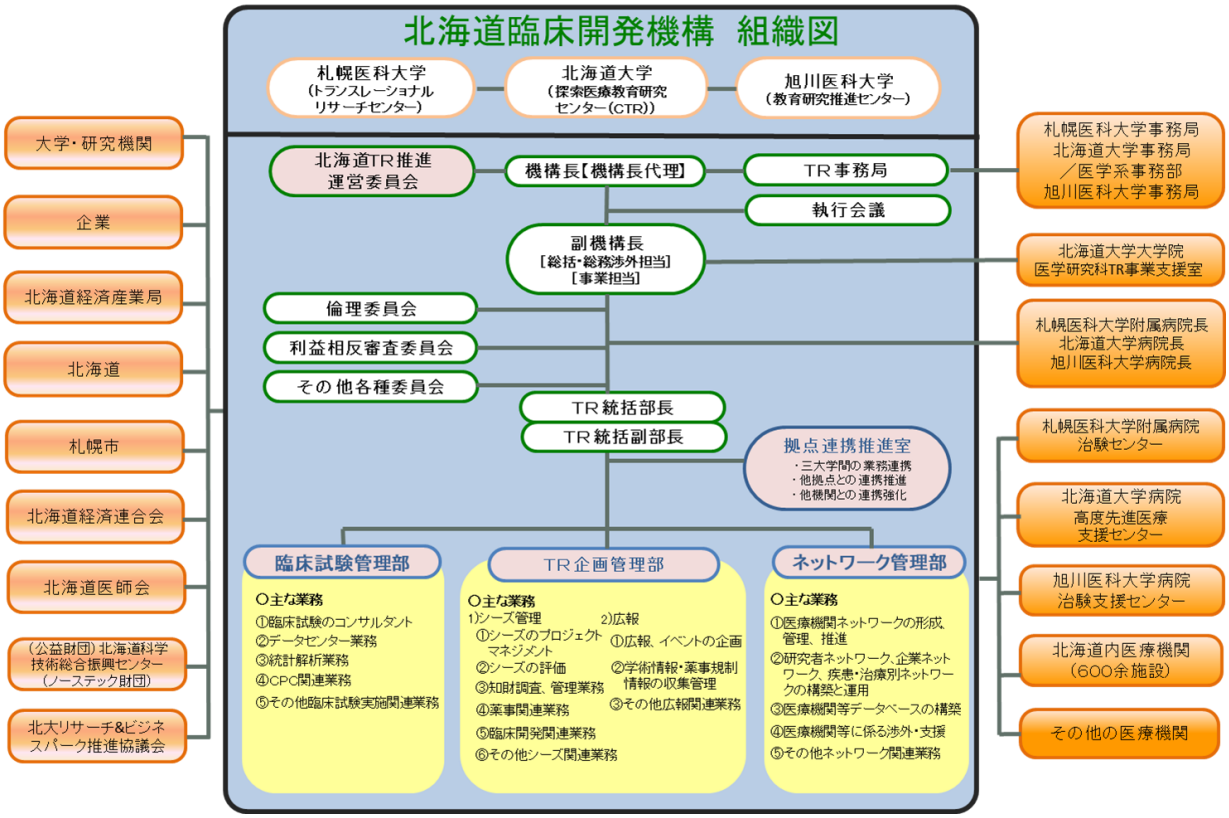
・第１期プログラム（平成 19～23 年度）
「橋渡し研究支援推進プログラム」　文部科学省補助事業

・第２期プログラム（平成 24～28 年度）
「橋渡し研究加速ネットワークプログラム」　文部科学省補助事業
（平成 27 年度から国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）へ移管）

・第３期プログラム（平成 29～33 年度）
「橋渡し研究戦略的推進プログラム」　国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）補助事業・委託事業

［概　要］

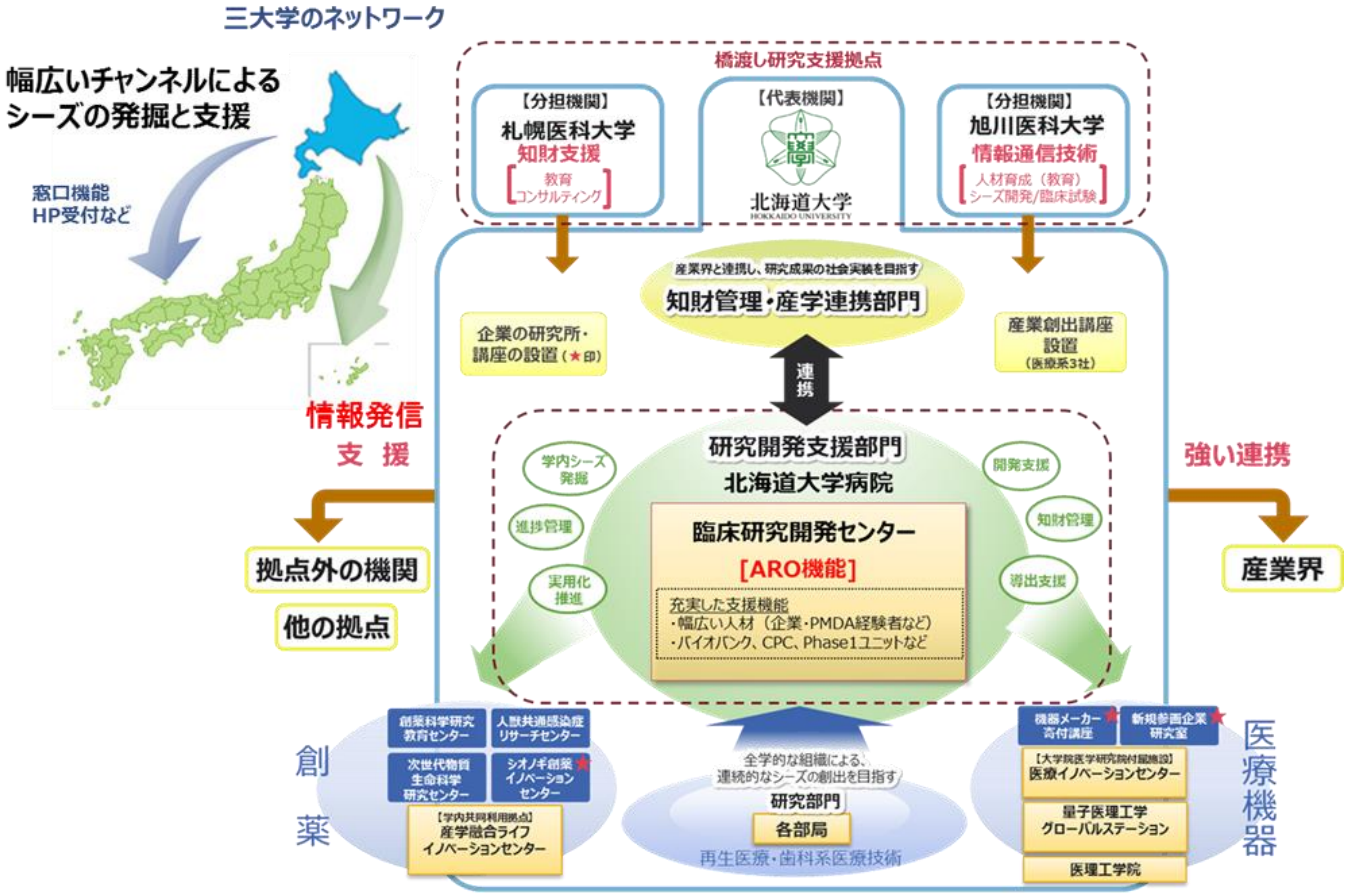
・「橋渡し研究（トランスレーショナルリサーチ）」とは、アカデミア（研究者・医師）の主導のもと、基礎研究で得られた成果を実用化につなげる研究のことです。
・平成 19 年に、この橋渡し研究の支援体制を整備する目的で、北海道大学、札幌医科大学及び旭川医科大学（以下「３大学」という。）により、「北海道臨床開発機構」を設立しました（事務局：北海道大学内）。
・北海道臨床開発機構では、臨床開発企画・管理、生物統計、データマネジメント等の各分野の専門家を擁し、安全性の評価、試験物製造の援助、適切な臨床計画立案の指導等の支援体制の整備を進めています。
・３大学で実施されている研究のみならず、全国規模で有望なシーズを発掘し、実用化を目指して支援を行っています。

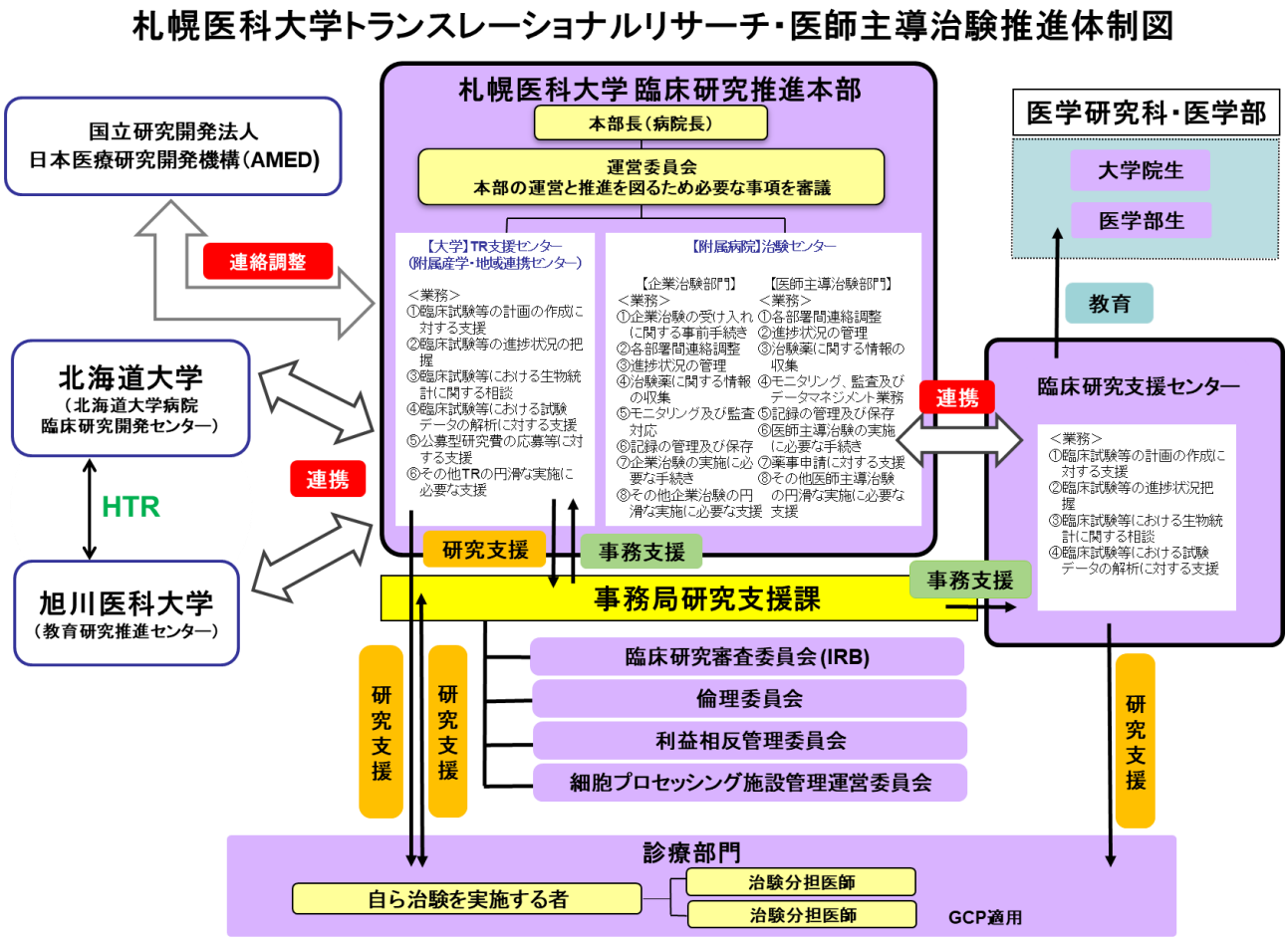


［第３期プログラム］

・平成 29 年度からは、日本全体で橋渡し研究を推進する体制をさらに強化・発展させ、日本発の革新的な医薬品・医療機器等をより多く創出することにより、世界一の健康長寿社会の実現に貢献することを目指し、第３期プログラム「橋渡し研究戦略的推進プログラム」がスタートし、全国 10 か所の橋渡し研究支援拠点が採択されました。

採択拠点…北海道大学（分担機関：札医大、旭医大）、東北大学、筑波大学、
東京大学、慶応義塾大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、岡山大学、
九州大学



［札幌医科大学トランスレーショナルリサーチセンター］

・札幌医科大学では、平成 23 年 4 月にトランスレーショナルリサーチセンターを開設し、その後、臨床応用への支援体制として、平成 26 年 10 月には病院長をトップとした「臨床研究推進本部」に改組して臨床応用までの円滑な推進を図る体制とし、研究の推進体制の構築などにあたっています。